

10周年記念公演の“本丸”は、人気シリーズ『ホンキートンク』最新作！

これぞ水木英昭プロデュースの真髄！ 若手もベテランも全力勝負

取材・文：木下千寿 撮影：岩田えり



水木英昭プロデュースの10周年記念公演第二弾は『眠れぬ夜のホンキートンクブルース 第二章〜飛躍〜』。津田英佑は、第一作から10年、ホストクラブ・ホンキートンクを立ち上げた一人、政秀役で出演している。津田「実はデビューからずっと再演モノばかりで、初演に携わったのはここが初めて。水木さんに笑いを教わり、『ホンキートンク』に芝居を一から作り上げる楽しさと厳しさ、怖さを教えてもらいました」

そして前回始まった第二章から、ホンキートンクのナンバーワンホスト・翔を演じる鈴木拓樹。ドSな営業ぶりと後半で見せる繊細な素顔との激しいギャップで、観客の心を掴んだ。鈴木「前半の表情を大事にすることで、後半で出てくる意外性や津田さんとの関係も生きると思ったので、そこは意識しました。前半のかなり尖ったキャラも嫌いじゃないですけど、後半を演じているほうが気持ち的には楽で、ホツとします(笑)」

津田「拓樹が稽古に來られないときは、代役で僕が翔をやっていたんですよ。すごく楽しくて、密かに『本番もやりたいなあ』と思っていたんですけど、実現しなかったな(笑)」

新作では、翔にライバルが出現するなど、ホンキートンクに再びピンチ到来。若者たちがさまざまな苦悩を抱えつつ成長していく姿を描く。鈴木「コメディに挑戦する機会はなかなかないですし、シリーズものを継続させていく難しさも実感しているので、『ホンキートンク』でこうしてみんなと一緒に進んでいけているのが嬉しいですね。毎回、どうやって笑いを作るのか、本当に勉強になる舞台なんです。先輩方が繋げてきた作品をさらに続けられるよう、キャスト全員が気持ちを揃えていかないと、と気を引き締めています」

津田「最初は水木さんも首をかしげるような『グセ』だった芝居が、水木さんの作品を通じて、役者の個性として受け入れられるようになる。そういう役者の集団が、水プロの常連だと思います。僕にとってここは、ホームのようなカンパニー。強烈な個性のぶつかり合いをお客様も期待されていると思うので、たっぷり見せて楽しませたいですね」

役者たちが渾身の力で生み出すエネルギーが、一度観たらやみつきになること間違いなし！

カンフェティ チケット ホンキートンク 検索

水木英昭プロデュース

眠れぬ夜のホンキートンクブルース 第二章〜飛躍〜



創立時から続く人気シリーズが第二章に突入して早一年、続編として再び登場！
今回は魅力的かつ個性のキャスト陣でお贈りする、躍動感あふれる“手に汗にぎる笑い”のエンターテインメントヒューマンコメディ！
構成・演出：水木英昭 脚本：松田 環・水木英昭
出演：津田英佑 鈴木拓樹／山田邦子／
青柳登斗 河原田巧也 鳥越裕貴 増田裕生 碓 理人／
水木英昭 椎名鯛造 佐伯太輔 山本崇史／野久保直樹 他

日：2015年5月30日(土)～6月7日(日)※他、地方公演あり 場：紀伊國屋ホール
料：前売5,800円 当日6,500円 ※当日券は残席のある場合のみ(全席指定・税込)
HP：http://www.mizu-pro.com/ 問：水木英昭プロデュース tel.03-3377-5666(平日11:00～19:00)

30名限定！ 5,800円 ▶ 5,200円 さらに300pゲット！

対象公演 6月1日(月)・2日(火)・3日(水)・5日(金) 19:00 各4～10名 計30名
3月9日(月) 11:00より発売開始

PROFILE

津田英佑(つだ・えいすけ)上／70年10月27日生まれ。東京都出身。92年、『大草原の小さな家』でミュージカルデビュー。卓越した歌唱力で00年『レ・ミゼラブル』マリウス役、04年、劇団四季『マンマ・ミーア』客演など活躍する。14年、ディズニー映画『アナと雪の女王』ではハンス王子の吹き替えを担当した。

鈴木拓樹(すずき・ひろき)下／85年6月4日生まれ。大阪府出身。07年、テレビドラマ『風魔の次次郎』で俳優デビュー。08年、舞台『最遊記歌劇伝 Go to the West』で初主演。現在、舞台『弱虫ペダル』シリーズをはじめ、数多くの舞台作品に出演し、人気を博す。

水木英昭プロデュース／劇団スーパー・エキセントリック・シアター出身の水木英昭主宰の団体。自身のユニットを2005年に復活させ、舞台やLIVEで人気を博し観客動員数を着々と伸ばしている。“手に汗にぎる笑い”の“エンターテインメント・ヒューマン・コメディ”を旗印に、各界より多彩で個性的な俳優やアーティストたちが集結した独創的な舞台を展開。